



B地区 フェイサイ、バクベン

A地区 サワンナゲート

弊社で新たに、確立しようとしている農業地域です。

ベトナム国の更に上位の緯度にあるこの地区は水量もあり、(ラオスの中にあるメコン川は上流で側の幅が300m、ビエンチャンでは1000mにもおよびます。)

また、優良な農業人口を集めることも可能な地区です。

そして、何よりも、まだ、土地が痛めつけられておらず、土に地力を残しています。

通常、首都のビエンチャンなどでは最高で42度から下は28度に達しますが、

弊社が、実際に栽培・加工を目指しているこの2地区は、上が30度、下が15度という温度帯にあります。高度も1000メートルや1400メートルのところ です。

(フランス人が保養地として開拓したボロベン高原で700m~1200mの高度。ここは1万平方キロメートルにも相当する、肥沃なテルルージュ地帯。)

乾季は10月から4月、雨季は5月から9月。11月から2月が一番の冷涼時期で野菜の生産にむく時期です。

この地区では、たけ、こんにやく、しょうが、にんにく、くり、わさびの栽培が可能です。

とくに、こんにやくと竹は大量に自生のものがある地帯です。

#### 農業開拓地帯 A 地区

タイ国境でタイ側ムクダハン、ラオス国境でラオス側サワンナゲート地区。  
現在、高速道路の開拓をしていて、タイからラオス、ラオスからベトナムのドンハへと  
つなぐ工事がすすんでいます。  
コラート高原からの豊富な水量と、ラオスには珍しい黒土も混ざった地区です。

#### 農業開拓地区 B 地区

フェイザイ。ここは、メコン川の上流からの豊富な水量と、ラオスでは珍しい肥沃土、  
そしてなだらかな高原地帯で、平均して高地にあることから、気象条件も、野菜の栽培に  
適しており、温度帯も、30度から 15度の中にあります。

◎下記は現在やっているこんにゃくの収穫場所の写真です。

